

第5回議会報告会（広畑ふれあいプラザ）結果報告

日 時 平成28年11月20日（日）

午後2時から4時まで

参加者数 6人

- 内 容
1. 開会あいさつ（司会者：木村議員）
 2. 広畑ふれあいプラザ担当の議員紹介
 3. 議会報告会の意義
 4. 報告
 - (1) 平成27年度決算の審査概要について
 - ① 決算の概要説明（「議会だより第222号」利用）
 - ② 質疑
 - (2) 地域別テーマ
 - ① 地域の安心安全について
 - ② 質疑
 5. 意見交換

※議長は、北公民館から順番に挨拶するため、2部の地域別テーマの途中で挨拶をしてもらった。

質疑の内容

質問1 Q：ファミリーサポートセンター事業はどういうものか。

A：支援会員と被支援会員で構成された組織で保健福祉センターに事務局がある。保育園へ連れて行くことや家で預かるなど子供に関する個人的な願いをサポートセンターが仲介する事業である。

質問2 Q：鶴巻中学校周辺のクランクとなっている通学路の整備はどうか。

A：今年度測量が実施され、設計がはじまっている。平成29年度に車道4.5メートル、歩道2.2メートルとしてクランクから緩やかなカーブになる予定である。

質問3 Q：下大槻地区における県道613号の歩道整備について、4年ぐらい前に買収を始めると言っていた。平塚土木事務所から進捗状況も知らされていないが状況はどのようか。

A：県の状況については調べて回答させていただくようにする。
執行部確認、県の予算の範囲以内で用地交渉を進めている。

質問4 Q：東光寺薬師堂付近の危険な交差点について、東海大学方面に向かう下り坂ではスピードを出して通過する車等が多いため、一時停止を逆にする対策をしたほうがいいのか。

A：死亡事故が2件起きている。議会でも2回取り上げたが、信号機の設置はできないため、交差点手前から危険を知らせるよう改良したが、接触事故が結

構ある。地元議員としてしっかりと取り組んでいく姿勢でいるのでご理解をお願いしたい。

質問 5 Q：複数ある急カーブにおける安全対策について、急カーブを下る際に縁石が見えないため大回りとなってしまうが対策はどうか。

A：執行部へ話をさせていただく。

質問 6 Q：「広報はだの」11月1日・15日号にある特別会計などを見ると市の財政は豊かであると市民は誤解をする。秦野市監査委員の秦野市一般会計及び特別会計決算審査意見書を見るとわかりやすいと思うがどうか。

A：借金を30億減らしたというが、現状は816億の借金がある。平成27年度の未収金38億円となっている。ご指摘のとおり、誤解を与えらると思う。議会でもこの問題をやっている。

質問 7 Q：財政運営に関する貯金と借金のグラフについて、二つのグラフとなっているが、一つのグラフにしたほうが、イメージがつくと思うがどうか。

A：賛成をする議員もいるため、そういった議員から指摘いただきたい。議会全員ということにはならない。

質問 8 Q：早期健全化基準の算出根拠を注釈や市民一人当たりの市税負担について、一般会計だけでなく、特別会計も含めて記載してほしい。

A：質問7・8について執行部確認。貴重なご意見として、今後の紙面づくりの参考とさせていただきたい。

質問 9 Q：平成21年度末から6年間で19億9千万円縮減したというが、税金を払っていない人が市の働きかけで納めた結果なのか。または、不納欠損で減らしたもののなのか。

A：納付はもちろんのこと、大規模な倒産などが減ったことや課税自体が減ったこと、不納欠損も一部含むことにより、未収金の額が減っている。

質問 10 Q：不納欠損は、年間で5億円くらいあると聞いているが、未収金と同じ6年間ではどうか。

A：平成22年度から27年度までの不納欠損は約35億3千万円となる。

質問 11 Q：未収金・不納欠損を一括管理している部署はあるのかどうか。

A：一括管理している部署はない。

※質問6から11については、「広報はだの」11月1日・15日号に掲載された内容に対するもの

質問 12 Q：広畑小学校は、全生徒数 262 人ぐらいである。学区を決めてから 20 年経過し、オレンジヒルは現在、大根小学区であるが、広畑小学区として見直しをすれば生徒数が増えると思うがどうか。

A：その場で解決できない大きな課題として、学区の見直しが可能かどうかきちんと相談をしていきたい。

質問 13 Q：新聞に記事にある下水道事業債の二重計上による過大借入れにより 360 万円の利息を払うとのことだが、これに対し、市議会議員はどうチェックしているのか。

A：借入れが必要な 210 件程度の案件うちの 20 件程度を二重計上し、担当課長までのチェックで気づかず借入れをしたもの。議会が議案として二重計上されているかどうかをチェックすることは議員にもできないのが実態である。

360 万円の補償金は、執行部によると高く見積もってということであり、何とか軽減できないかどうか交渉をしている状況である。

質問 14 Q：約 8 万円の年金生活では、生活保護にならないと聞いている。

家賃が上がり支払に困っている人はどうしたらいいか。

A：生活保護にならない人には「きゃっち。」という制度がある。

生活保護は一人一人みんな違うため、地元の議員に相談をしてほしい。

質問 15 Q：防災における広域避難場所の見直しについて、下大槻の人たちは、子供が広畑小学校に来ているのに、大人は大根中学校に行くことになっている。防災課では、自治会が違うからできないということであった。市営薬師原団地は自治会がないが、避難所はどうするのか。

A：問題は自治会ごとに広域避難場所で組織ができるかどうかと思う。

宿矢名自治会は組織が大きいいため、一自治会で複数の防災会ができるかなど役員が別になると思われる。

質問 16 Q：高齢化が進む中で、大型店舗の撤退に関連し、市内で買い物ができるか否かの問題について市議会での議論はどのようなようか。

A：イトーヨーカドーの撤退で、現状では 1 階が食料品、上階がマンションなりの計画と聞いている。イオンの撤退は聞いていない。

買い物が不便な人たちを対象とした具体的な行政の施策について、まだ議論されたことはない。

質問 17 Q：高齢となり車の運転をやめた。下大槻団地には路線バスがあるが、高齢者にとって買い物にでることは大きな問題となる。このため、市からも路線バスの維持について力を入れてほしい。